

1999.9
No.61

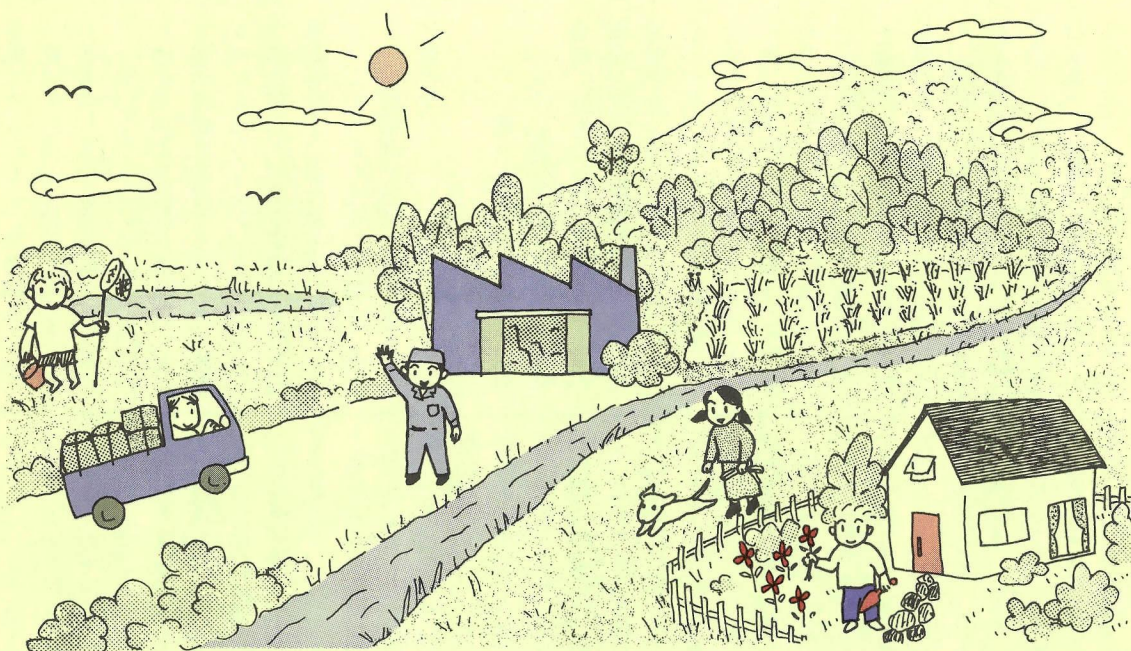
RECYCLE
Design

月刊

リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に
リサイクル社会の実現をめざしたい

リサイクルデザインは、横浜市内の資源回収業者の組合(137業者が加盟)による
市民と組合員にリサイクルの情報・回収の実情を伝えるための情報誌です



環境 ISO — 企業の取り組み

ISO = International Organization for Standardization (国際標準化機構) の定めた基準

前号では環境ISOと言われる国際基準ISO14000がどんなものか、取得する意味や問題点についてふれました。今回は実際に認証を受けた企業に話をうかがいながら、さらにISO14000について考えてみたいと思います。

(ISO14000の内容に関しては九年八月号を参照してください)

1. 旭硝子相模事業所の場合
神奈川県愛甲郡にある旭硝子株式会社相模事業所は、自動車用ガラスの総合工場です。一九九五年に品質ISOであるISO9001、ISO9002を取得し、一年前の一九九八年八月二十八日には環境ISO14001の認証登録を行っています。従業員数の多い大きな企業が認証を受けるために苦労や工夫をした点や、実際にリサイクルをどのように進めているかについて、総務課業務グループの石坂将樹さんと宇藤公一さんにうかがいました。

■はじめの一步はルール作り
『組織の一部門だけが取り組むのではなく、環境についての考え方が社員全体に行きわたり、メンバーが主体的に行動すること』。これが、会社という組織が認証を取得するに当た

って大切な条件の一つとなります。旭硝子相模事業所の場合、社員約六四〇名に協力会社の約三〇〇人が加わる大所帯、さらに二四時間工場稼働している三交替制という難しい状況のなかで、どのように環境ISOの考え方を伝えていったのでしょうか。

「協力会社の方も含めた社員全体に、啓蒙をはかることが一番大変でした。日常業務に連動する部分からルール作りをし、関連するような講演会があればみんなで参加するようにするなどして、徐々に浸透させていきました」

関連する日常業務の中で、社員に最も身近なのがゴミの分別です。それまで三種類に分けていたものを一七種類に分別するようにし、『集めてから分別するのではなく、排出場所から分別しなければいけない』という考え方の徹底から始めたそうですが、同じゴミを見ても一人ひとりという方が違うのですから、苦勞も多かったことでしょう。

「まず各部署からメンバーに出てもらって、廃棄物チームを作りました。分別場所に細かく文字で書いても読まないでしょうから、図解したり、現物を小さく切ったものや写真

を貼りつけたりと、廃棄物チームと一緒に分別方法を知ってもらうための工夫をしているうちに、分別表にのっていないものについての問い合わせがくるようになりました。ティッシュは燃えるゴミだけれど、鼻をかんだらどうなるか、といったような細かなことに至るまで。これも認識が高まった現れだと思っています。ただ、問い合わせの電話が鳴りつ放しという時期は、ちょっと大変でしたけれど」

■リサイクルへの取り組み

工場の規模が大きければ、当然廃棄物の量もかなりの量になります。現在、旭硝子相模事業所では、製造現場から毎月二〇〇〇トンのガラスくず（カレット）が排出されますが、全体の四分の三となる一五〇〇トン（板ガラスの原料としてリサイクルしています。四分の一に当たる五〇〇トンの大部分は、関連会社でガラス繊維に加工して使い、わずかに残る質の落ちるものについては、粉にして道路の白線を引く塗料に混ぜています。ペンキだけだと一か月程度で消えてしまう白線にガラスの粉を混ぜると、格段に持ちがよくなるのだそうです。こうしてカレットのほ

ぼ一〇〇パーセントがリサイクルできるようになりました。

また、ガラス製品は割れたり傷がついたりしやすいため、包装資材を大量に使う梱包します。最大の課題は、年間六〇〇トンに及ぶ使用後の包装資材をどうリサイクルするかということでした。

取り組みを始めるまで、リサイクルしていたのは段ボール程度で、可燃物については自社で焼却処分していました。しばらくは焼却炉をそのまま利用していく予定だったのですが、今後厳しくなる規制に合わせるには大幅な改造が必要で、そのために億単位の費用が必要となること、そしてISO一四〇〇〇の考え方の基本は焼却ではなくリサイクルということから、焼却炉を使わない方向に転換したのです。

検討を重ねた結果、現在では包装資材の八割がリサイクルできるようになりました。木でできたパレットはできる限り再利用し、壊れて使えないものはチップにして固め板材にリサイクルします。ポリシートやPPバンドは、日本鋼管京浜製鉄所に運んで製鉄燃料として利用しています。また事務部門から排出される

紙類は、全量細かく分別して古紙業者に託しています。六月からはトイレットペーパーとして受け入れるようになりました。

現在真剣に取り組んでいるのは、ガラスを研磨した時に残る汚泥の処理です。凝集させるために入れる薬剤と水分含有量が多いためにリサイクルが難しいのですが、水分量を大幅に減らしてガラスの窯に戻そうという大きな目標を立て、試行錯誤しながら進めているところです。

「ガラスはガラスに戻すのが、旭硝子にとって本当のリサイクルですから。

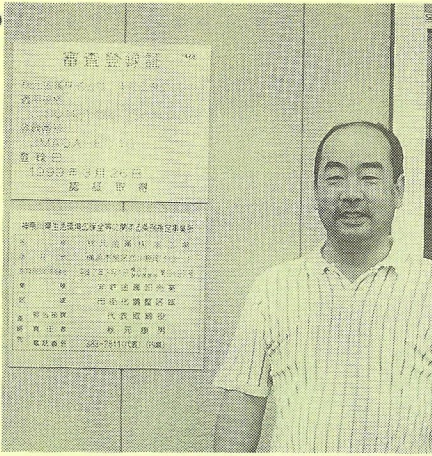
こうしたことは、はっきりした目標なしに進めようとしても、『業務が何か騒いでるな』と受け取られるだ



旭硝子相模事業所

けかもしれませんが、ISO一四〇〇〇という形のある目標があったから、みんなが納得して参加してくれたのだと思います。まだ完璧ではないし、これからも変えていかなければいけないところがたくさんありますが、数年前の事業所の姿を思い起こせば、大きく様変わりしている、ということと言えます。自分でそんなに褒めてはいけませんですけれど(笑)

横浜市資源リサイクル事業協組
合にも、すでにISO一四〇〇〇を
取得した会社があります。今回はそ
のうち2社をご紹介します。



審査登録証を掲示した事務所の前に立つ秋元社長

2. 秋元金属の場合

秋元金属株式会社は、アルミニウム・銅などの非鉄金属を選別して破砕、そして圧縮する加工を行っています。アルミや銅はこうした前処理をした後、専門の会社運びリサイクルします。社員は社長の秋元康男さんを含めて一〇名。ISO一四〇〇一を取得している企業としては規模が小さいのですが、取得にコストや手間がかかるISO一四〇〇一をとった意味はあったのでしょうか。

「取引が拡大したというような経済的なメリットはまだないのですが、対外的には信用度が高まりましたね。ISOをとることによって、小さい会社ほど社会的認知を受けられるようになってきています。」

社内的には、ISOと連動して毎日様々な確認をするチェックリストを作る必要があったのですが、これによって日常の点検作業が確実に実行できるようになったため、修理箇所などを早めに判断でき、コストダウンにつながっています。一度システムを作ってしまったら、ファーストフード店のマニュアルと同じで日常業務が楽になりますね。省エネ効果も徐々に出てきたようです。

また、どんな小さなことでも紙に

記録して担当者に渡し、それが直った担当者サインして戻す。それが書類として残っていくので、これまでのように、『まあいいだろう』で片づけてしまうことがなくなる。いいシステムだと思いますよ」

期待していなかった利点もありました。それは、認証を取得するための作業を通じて自然に社員教育ができたこと。ISO一四〇〇一という目標に向かって社員一人ひとりが責任を持つ形にしたので、社員全体のレベルアップがはかれたそうです。

「ISOの基本はトップダウン方式ですから、規模が小さい方が認証を取得しやすいということなのでしょう。それに、規模が大きいと小さい場合より費用も時間もかかりますから。ただ、現場中心の会社で取得するためには、社長が先頭に立って社員をひっぱることが重要になってきますね」

秋元さんがISOに興味を持ったのは九七年のこと。九八年一月に金属関係の組合に働きかけて勉強会を開き、その三か月後の九八年四月に取得へと始動を開始。認証を取得したのは九九年三月ですから、丸一年かかったことになります。

最初の半年は書類の作成を中心に

しながらシステムを作っていたのですが、現場中心の会社で社内文書を作る習慣がない。従って利用できる既存の文書がなく、すべて秋元さんが作成しなければなりませんでした。ISOは作成する書類が膨大と言われていますが、いったいどれくらい必要だったのでしょうか。

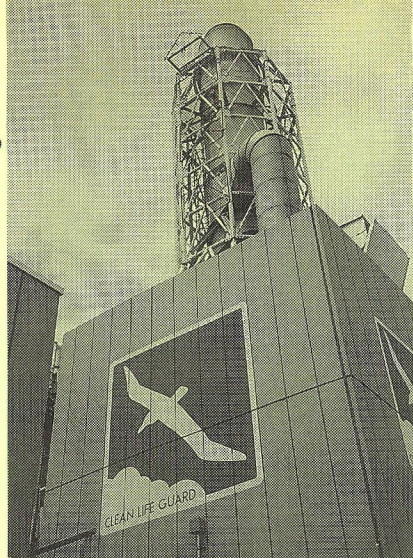
「書き直しがあつたから五〇〇〇枚くらいにはなっているんじゃないかな? 途中でやめようかと思ったほどでした。今思えば、中途半端にあるよりはよかったかもしれないのですが。」

ISO一四〇〇一の規格を満たしながら、会社の規模に合わせてなるべく簡素化したシステムを作ることになった点がよかったものでは」と秋元さんは分析しています。

3. デスポの場合

廃棄物のなかでも適正な処理が難しいのが産業廃棄物。株式会社デスポでは木くずや繊維くず・廃油・汚泥・廃プラスチックなどの産業廃棄物を処理しています。

一九九五年、横浜市都筑区に新工場を建てるにあたり、それまで『燃やす・埋める』という発想で処理さ



デスポ池辺工場。一日の焼却量は22トン。焼却後の排ガスは、煤塵をサイクロンで80%カット、スクラバーで99.8%中和、そしてダイオキシンを分解して放出

れてきた廃棄物を、できる限りリサイクルし、再利用できない可燃物についてだけ焼却処理するという方向を打ち出しました。ISO一四〇〇一取得は、社員の新たな目標としてとらえて取り組み始めたものです。デスポは工場地域に立地していますが、省エネルギー・廃棄物の減量化・リサイクルに力をつけているのは、廃プラスチックの有効利用です。現在、全国で排出される廃プラスチックのうち再生利用されているのは、わずか一パーセント。このままではいけないと、集めた廃プラスチックをできるだけ有効利用できるように工夫を重ねています。

この三月に無事取得するまで、準備には一年かかりました。産業廃棄物の焼却工場としてISO一四〇〇一を取得したのは県内で初めて。また、コンサルタントに頼る

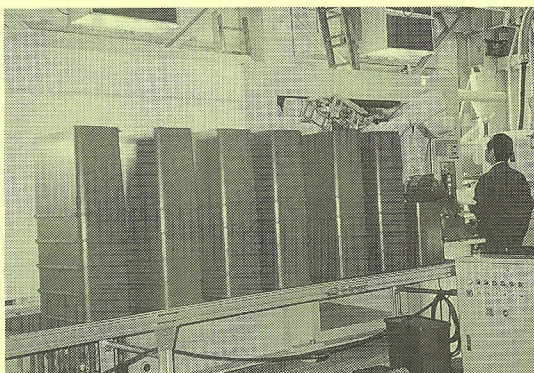
ことなく、社内の勉強会を中心に環境マネジメントシステムを構築した点も評価されています。

ISO一四〇〇一取得のための環境方針の中で、デスポがとりわけ力を入れているのは、廃プラスチックの有効利用です。現在、全国で排出される廃プラスチックのうち再生利用されているのは、わずか一パーセント。このままではいけないと、集めた廃プラスチックをできるだけ有効利用できるように工夫を重ねています。

また、秋元金属同様、ISO取得の準備過程で作業工程のマニュアルができあがったため、「社員の意識も変わり、作業効率も上がってきました」。

九人の社員が全員体制で、廃棄物の受け入れ・選別・焼却・車両運搬などの一四項目についてチェックを行いながら、システムを維持しています。積み重ねた努力が九八年度実績で、省エネの目標達成率一七パーセント、重油消費量削減の目標達成率五七パーセント、窒素酸化物発生量抑制の目標達成率一三五パーセントという成果となって現れています。

(よしのたかこ)



「廃プラスチックをできるだけ有効利用するために、ゴミ箱を作っているんだ。市販されているプラスチックのゴミ箱のほとんどは、バージン原料を使ったもの。だからデザインや色はいいかもしれない。でもリサイクル品でも丈夫ないいゴミ箱ができるんだよ。値段も350円以内（価格未定）と安い」と常務の宮治さん。このゴミ箱は驚くほど丈夫。学校や事業所に最適です。また、病院から出る感染性の容器を廃棄する時にも使えるよう、ふたは一度しめたらドライバーを使わないとあかない密閉式になっています。お問い合わせはリサイクル組合まで。10月2日～3日にパシフィコ横浜で行われるリサイクルフェスタのリサイクル組合ブースに、このゴミ箱を展示する予定です。もちろん小結くんも登場！遊びに来てくださいね。

*1 RD九九年四月号 参照
*2 社団法人プラスチック処理促進協会による一九九五年の推計値

●コピー用紙 (新聞古紙100%の再生紙)

平成11年8月現在

サイズ	入数	規格	1～2ケース	3～9ケース	10～19ケース	20ケース以上
A4	2500枚	白 (白色度70%)	2,080円	1,730円	1,630円	1,560円
		ピンク・イエロー・グリーン	3,660円	3,120円	3,000円	2,950円
B4	2500枚	白 (白色度70%)	3,180円	2,590円	2,440円	2,340円
		ピンク・イエロー・グリーン サーモン・パープル・ブルー	5,000円	4,680円	4,500円	4,450円
B5	5000枚	白 (白色度70%)	3,180円	2,590円	2,440円	2,340円
A3	1500枚	白 (白色度70%)	2,570円	2,070円	1,890円	1,840円

●コンピュータ用紙

入数	規格	1～9ケース	10ケース以上
2000枚	白 (白色度60%)	2,900円	2,660円

ご注文は

横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL 045・316・4050 FAX 045・316・6050

*この他の再生紙については、右記までお問い合わせください。

天然の雨水をもっと生かしたい！
そう願うと方法は実にいろいろある
もの。そしてたとえ少しでも雨水を
貯めるようになると、雨の日が憂鬱
ではなくなります。

▼ミニ屋根を作る

屋根と雨どい容器の三つをそろ
えれば雨水が貯まるなら、物置や駐
車場の屋根を斜めにしたり、道具置
き場に小さな屋根をつけて雨水を流
すだけでも良いはず。我が家の場合、
庭の一隅に奥行き五〇センチ×幅一
二〇センチほどの道具置き場がある
ので、この上にミニ屋根をつけて雨
水を貯めることにしました。

▼収納ケースのふたで

道具置き場の屋根の大きさは、不
用になった押入用収納ケースのふた
(七五×四〇センチ ポリプロピレン
製)二枚分。そこで裏返したふたを
屋根にして雨を受け、受けた雨はふ
たの一部に排水穴をあけて下に流し、
これをバケツで受け止めることに。
つまり雨どいを省略して雨水を貯め
るわけです。

▼作り方

①十分に熱した金串で、二枚のふた
の四隅に直径五ミリほどの取り付け
用の穴をあける。この時濡れ雑巾を
用意して、穴あけ時に出る煙をすば

やく消しながら作業する。

②食材用の抜き型を熱し、ふた二枚
それぞれ一か所に、直径三〜五セン
チの排水用の穴を①と同じ方法であ
ける。

③一枚目のふたの排水穴から二枚目
のふたに雨水が移動するようにふた
の一部を重ね合わせ、ふたの四隅に
あけた穴にひもを通して柵や柱にふ

地球を守る家事と工作 42

雨水を貯める ミニ屋根作り

島 秀子

エコサイクル家事研究家



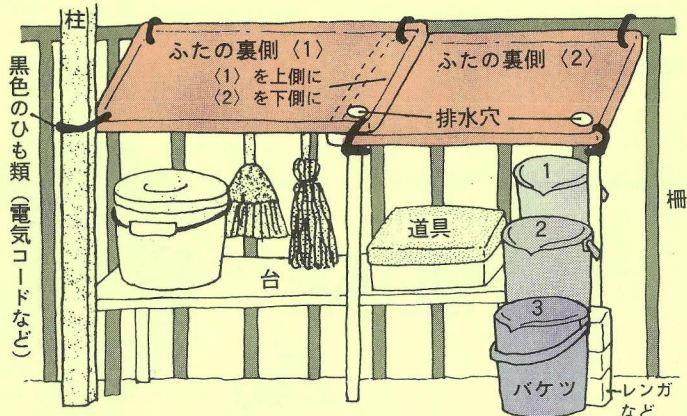
たを取り付ける。

④排水穴の下にバケツを置く。バケ
ツは二〜三個用意して、一つ目がい
っぱいになったら二つ目に、二つ目
がいっぱいになったら三つ目に雨水
が落ちるように、位置や高さを変え
て置く。

▼バケツ一〜三杯の雨水利用
ふた二枚分の面積はバケツ一個の
約九倍なので、この方法で雨が一日
降るごとにバケツ一〜三杯の雨水が
貯まります。雨水の柔らかい感触！
何ともいえず良い気持ちです。

*1 RD九八年九月号・九九年六月号
参照

*2 材質が塩化ビニール(塩ビ)のもの
は熱すとダイオキシンガスが発生しや
すいので、必ず素材を確認すること。ちな
みに雨どいやプラスチック製の波トタン
の材質は塩ビなので、決して熱を加えては
ならない



再生紙を使ってみませんか！

資源回収から生まれた再生紙です。

古紙配合率100%・白化度70% 長期保存にも優れた中性紙

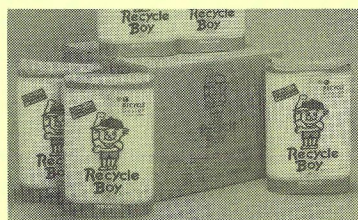
●リサイクルボーイ トイレットペーパー

さわったお尻は忘れない

サイズ	1ケースの入数	規格	10ケース以下	11ケース以上
シングル(芯なし)	(1ケース8パック/1パック6ロール) 48個	130m	1ケース3,360円	1ケース3,000円

*上記価格は、1回のご注文につき1ケースあたり(各種・各サイズ込み)の価格です。消費税が別途かかります。

*配送は、受注後2〜3日以内(土・日は除く)。送料は無料です。



ポン太が撮る 5

明るいリサイクル

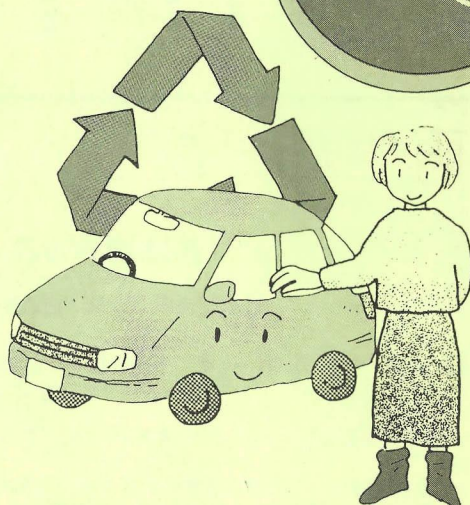
ポン太とはリサイクルデザイン編集人。趣味の写真を誌上に生かそうと、リサイクルの現場へカメラを持って出かけています。今回はファイバーリサイクル。



資源回収というと、「みんなで汗かいてガンバリましょう」てな感じですが、こうやって高級車に古着を積んで来て、楽しそうにファイバーリサイクルに参加するって、なんかいいですよね。こんなふうに気張らずにどんどん参加していただけたらうれしいし、そういう場を作っていきたいと思っています。

この数字
なんだ？

90%



毎年五〇〇万台程度出る廃車。その素材は多様で、リサイクルには手間がかかります。車を解体したら、まず全体の二〇〜三五％に当たるエンジン・バッテリー・タイヤをはずし、残った車体はプレスして粉砕。粉砕したものを再生できる鉄・アルミ・真鍮（五〇〜五五％）と、再生が難しかったため産廃として埋め立て処理せざるを得ない樹脂やウレタンなどのダスト（二五〜三五％）に分別します。

自動車メーカーでは九七年五月に通産省がとりまとめた「リサイクル・イニシアティブ」に沿って、リサイクル率を高める努力を重ねていますが、その目標は二〇〇二年以降の新車リサイクル可能率九〇％きています。

問題となっているのは、廃車料を惜しむ消費者による廃車の放置。そして廃車にかかる経費。鉄スクラップ価格の低迷と産廃処理費の高騰により一台の処理費は二万円以上かかり、きちんと処理するほど赤字になりやすい構造になっているため、きちんと処理されないケースも増えていきます。こうした状況を受けて、デポジット制度の導入により、消費者から受け取った処理費用を公共機関が管理して、正当に最終処理をした業者に還元すべきという声もあがってきています。

●トイレットペーパーは水に流れてしまうので、再生紙で十分だと思って再生紙のものを

使っていますが、品物によってあまりにも値段の差がありすぎると思うのですが、なぜなのでしょう？

我が家は丸富製紙さんのものをスーパーの安売りの時（一パック

一二ロールが二パックで三八〇円）に必ず買っていますが、

近くのスーパーでは一パック四九〇円もするものもあり、

これではちょっと手が出ないなあとします。もう少し価格差がなくなれば使う人も増えるのではないかと思います。

それから『小結くん』の記事を読み、ぜひ使ってみたいのですが、販売しているお店はないのですか？

これは知らない人がほとんどなので、こういうものがあると知れば、

使う人がどんどん増えると思います。区役所とかに置いてくれるといいのですけれど…。

横浜市旭区／瀬川園美さん

トイレットペーパーはスーパーや薬のチェーン店などで、目玉商品として探算度外視（つまり赤字

になってもお客さんが増えればいいという発想）で低価格販売さ

れることが多いため、販売価格に大きな差が出てしまうようです。

『小結くん』は、うれしいことに横浜市の金沢区役所・緑区役所の売店に置いていただけることになりました。さらに小結くんを置いてくださるお店を探しています。ご協力いただけるお店があれば、ぜひリサイクル組合に

おたより

!!welcome!!

RECYCLE Design

ホームページを開設しました
http://www.recycledesign.or.jp

おたより・ご意見はE-mailでも受け付けています
mail@recycledesign.or.jp

●ご連絡・ご紹介ください。

また、ご希望の方にはサンプルをお送りしますので、ご送付先の住所・氏名、サンプル希望の旨を、

はがきまたはFAXでリサイクル組合までお知らせください。

〒220-0003

横浜市西区平沼一三三ー一

TEL&FAX

●コンポストを利用するようになり処理の大変さやゴミの多さを実感。ゴミを出さない料理や家事を徹底するように

なりました。ふだんのゴミの出し方、ホントにこれでいいの

のかってかなりの人が思っ

告やDMは回収なし。私

知らないだけなのでしょうか？

鶴見区／小林道子さん

「新聞紙の回収」というのは集

回収もしくは新聞販売店回収の

ことだと思いますが、どちらも現在

はチラシも含めて回収して

います。上質の再生紙を作るには、

ある程度チラシが必要だからで

す。ただ、チラシを混ぜる分量は

場合によって異なるので、新聞紙

とチラシは分別して出すのが原則

です。またDMが入っていた

封筒は禁忌品。リサイクルでき

ませんので、ご注意ください。

●雨水タンクの記事、我が家

でも実践しているので、興味

深く読みました。我が家の

英国製のプラスチックのリサイ

クル品で、確か三万円足ら

ず。二台置いてあります。これ

を設置してから、外の水道は

ほとんど使いません。水圧が

低いのが難点ですが、使い切

れなくて梅雨時はあふれた水

がホースから出るのが、もっ

たいなくてはなりません。トイ

レの水にも使いたいのですが、

工費が高つくでしょう。

それにつけても雨水を捨てる

のはもったいないことです。

●これからは水と太陽の光の

有効利用を考えるべきときだ

と思います。風呂の水はもち

ろん、今回の雨水利用のよう

なバケツひとつでできるとい

うようなアイデアはすばらし

いと思います。

家から出るビニール袋・ト

イレットペーパーの芯・空き

箱・プラスチック製品などの

資源は、せつせと学校に運ん

で教材にしています。

横浜市栄区／石井深香子さん

●いつも思うのですが、いろ

いろな場所に設置されている

ゴミ箱は、もったきちんと分

別できるようになっていると

いいのになあと感じています。

「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」

だけの分別ということとは、ど

う考えてもリサイクルされて

いないだろうし、「びん・缶」

一緒に本当にいいのかなあ？

などためらいながら利用せ

ざるを得ません。ゴミ箱自体

が細かく分別できる形になっ

ていたらすごいのになあ

と思います。国でそう決めて

ほしいなあ。東京都／匿名希望

リサイクル 標準価格表

平成11年8月現在

品 名	買入価格*	業者の売値 8/26 日経新聞
新 聞	1kg - 1円 ***	1kg 4~5円
雑 誌	1kg - 3円 **	1kg - 1~0円
段ボール	1kg - 3円 **	1kg 1~2円
衣類くず	1kg - 3円 **	1kg 3円
アルミ缶	1kg 10~15円 ***	

- * 集団回収には「買入価格」が適用されます
 ** 有料となります *** 有料となる場合があります
 **** スチール缶などと選別してある場合の価格です
 ★ この価格は500kg以上集団回収する団体のみに適用されます
 また取引条件により、多少の変化があります
 ★ 事業所から発生したものは、集団回収の対象になりません
 事業所ごとに、業者と直接ご相談ください
 ★ 集団回収以外の段ボールの回収には、1回3,000円以上の
 手数料がかかります
 ★ 段ボールは必ず束ねて出してください

オフィス古紙
共同回収

'99.7
参加企業11社
13,770kg
回収地域は横浜駅西口・
新横浜の2か所

アルミ缶
店頭回収

'99.7
市内スーパー等
102店舗
53,200kg
(3,783,221 缶)

横浜橋通商店街
ダンボール回収

'99.7
12,590kg

アルミは「電気の新塊」と言われています。
それは、アルミの地金（新塊とよびます）を作るのに大量の電力が必要だから。原料のボーキサイトから新塊1トンを作るのに使う電力は約1万6千キロワット（kwh）。これは回収したアルミ製品を再生するのにかかる電力の約33倍、小さな市町村の1か月分の電力供給量に当たります。

かつては日本国内でもアルミを精練していましたが、一部の例外を除き、アルミメーカーは電力の高い日本でアルミを精練することをやめ、電力の安いインドネシアやブラジルに工場を作り、そこで精練したものを日本に輸入して加工するようになりました。

海外ではアルミ会社の再編が進んでいるとのニュースが、このところさかんに伝えられています。こうした動きは、アルミ原料のボーキサイトを粉末のアルミナにし、それをさらに地金（アルミの場合は新塊と呼びます）にして売るアルミ精練を行う会社と、新塊を板状に加工する会社などをまとめることによってコスト削減することが目的の一つですが、同時にシェアを握ってアルミ価格をコントロールしたいというねらいもあります。アルミの価格は、製造するのにかかるコストではなく相場によって決まるため、大きなシェアを持つことはメーカーにとって大きな意味を持つからです。

リサイクル
コンポイント講座

月刊 リサイクルデザイン
No.61 (Vol.6)

発行日 1999年9月15日

発行人 中野聡恭
編集人 宗村隆寛

発行所
横浜市資源リサイクル事業協同組合
〒220-0023
横浜市西区平沼1丁目33番1号
東洋建物横浜ビル5階
TEL & FAX 045・316・5122

スタッフ
山岡秀明・武松昭男
杉山宜利・竹澤留美

イラスト いとうみき
編集・制作 よしのたかこ

印刷 オリジナルプランニング

古新聞回収は

ニ おすべ
小結くん

読み終えた新聞は、袋に入れず、紙ひもで束ねる。
効率的に、ゴミを出さずにリサイクルするために、
「小結くん」は生まれました。

1巻 長さ90m	価格	送料
バラ売り	1巻 250円	1~6巻 400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱 1箱 11500円 (1巻当り230円) 10箱~ 1箱 9500円 (1巻当り190円)	価格に 含まれます

横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220-0023 横浜市西区平沼1-33-1

☎ 045・316・4050

FAX 045・316・6050

お申し込み
お問い合わせ